



2013年3月19日

各位

会社名 株式会社CFSコーポレーション
 代表者 代表取締役社長 石田 岳彦
 (コード番号: 8229 東証第1部)
 問合せ先 管理本部長 上田 晃一
 電話番号 045-476-7474

当社の親会社 イオン株式会社
 代表者 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
 (コード番号: 8267 東証第1部)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2013年2月期(2012年2月21日~2013年2月28日)において、下記の特別損失の計上を行うとともに、2012年9月27日に公表いたしました2013年2月期通期業績(非連結)予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、一部店舗等の固定資産について、収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、減損損失15億38百万円を、また、当社の関係会社に対する株式の実質価額が低下していることに鑑み、関係会社株式評価損1億円を特別損失に計上する見込みです。

2. 2013年2月期非連結業績予想数値の修正(2012年2月21日~2013年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	110,000	1,200	1,400	500	14 42
今回修正予想 (B)	112,000	1,030	1,520	△500	△14 42
増減額 (B-A)	2,000	△170	120	△1,000	—
増減率 (%)	1.8%	△14.2%	8.6%	—	—
(ご参考) 前期実績 2012年2月期	105,649	2,107	2,475	177	5 13

3. 修正の理由

当事業年度においては、消費行動の抑制傾向が続き、価格競争を含む企業間競争の激化や特に前半の季節品の需要低迷等から、総じて厳しい状況が続いております。このようななか、当社は、既存店においては調剤併設化の推進、営業時間の延長、食品ゾーンの強化を進め、一方、成長へ向け新規出店や大型改装を加速させてまいりました。

特に下期には、既存店の売上高前年比が好転し、また、調剤部門の売上高が引き続き好調に推移しました。出店、改装等を進めたこともあり、営業利益は計画に及ばなかったものの、売上高、経常利益はともに前回発表した予想を上回る見込みとなりました。しかしながら、上記のとおり固定資産の減損損失等をはじめとする特別損失16億円強を計上する見込みとなったことから、5億円

の当期純損失となる見通しになりました。

なお、期末配当につきましては、期初に発表したとおり1株当たり4円を予定しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。また、当事業年度より決算日を従来の2月20日から2月末日に変更したため、前期実績は参考値としてご覧ください。

以 上